



今月の題字
芳賀ゆうきくん
(豊間根小2年)

町のわだい

本町でシーカヤック交流会 山田の自然と味覚を満喫

9月13日と14日、「シーカヤックジャンボリー2003 in 山田」が山田湾で開催されました。シーカヤック愛好者のマナー向上と交流を目的に三陸カヤックス(草山雅之代表)が開いたもので、県内外から40人が参加。同クラブ会員の指導で、漁場付近での航行上の注意点などの説明を受けながら、浦の浜海水浴場から大島までのツーリングを楽しみました。昼食には地元の魚介類を使った海鮮バーベキューも用意され、参加者は山田の自然と味覚を満喫していました。



山田中 記念碑「希望が丘に立つ」の除幕式 校舎建設地のゆえんを後世に

山田中学校記念碑「希望が丘に立つ」が、同校に建立され、9月12日、関係者40人が出席して除幕式が行われました。同校新校舎の完成を機に、昭和40年に統合中学校が「希望が丘」に建設されたゆえんを記念碑に記し、後世に語り継いでいこうと地元有志により建立されたもので、碑文は、校舎建設地を「希望が丘」と命名した新生山田町の初代町長佐藤善一氏に作成を依頼。碑には校舎建設地を定めた経緯や人類の幸福を祈る文が刻まれました。式では、初代教育長の山崎良三郎氏と松尾光信教育長の手により静かに白布が取り除かれ、出席者は記念碑の完成を祝い合いました。

八千代 自治会 「ひまわり品評会」を開催 共通の話題で親ぼく深める

八千代地区自治会(吉川義男会長・86世帯)の恒例行事「ひまわり品評会」が8月31日、豊間根生活改善センターで開催されました。共通の話題で地区の親ぼくを深めようといわれているもので、今年で15回目。同自治会の行事の見直しなどにより、今回が最後の開催となりました。品評会には各家庭で丹精込めて育てた色鮮やかなヒマワリ52点が勢ぞろい。大きさや形、肉厚などを基準に審査が行われた結果、芳賀優輝君(豊間根小2年)が最優秀賞に輝きました。



祭り巡行に合わせて歩行者天国になった
国道で、華麗な舞を演じる八幡大神楽



「お祭り広場」の特設ステージ
で勇壮な舞を演じる境田虎舞

県漁村青壮年 研究グループ 平安荘に魚介類を贈呈 新鮮な海の幸食べ長生きを

9月24日、県漁村青壮年研究グループ連絡協議会下関伊支部(前山一彦部長)では、特別養護老人ホーム平安荘を訪れ、新鮮な魚介類を贈りました。「海の幸一握り運動」として行われているもので、今年で17回目。贈呈式では、副部長の阿部豊さん(大沢養殖研究会会長)がホタテやワカメなどを入所者に手渡しました。その後、山田湾、織笠両漁協婦人部による踊りや歌も披露され、入所者の皆さんは手拍子を打つなど、心からの温かいもてなしに大喜びでした。



金色の光を放ちながら町を練り歩く八幡宮のみこし。沿道や「お祭り広場」に詰め掛けた観衆を魅了しました

山田八幡宮・大杉神社例大祭 町を包む伝統の祭りばやし

山田八幡宮と大杉神社の例大祭が9月14日と15日に行われ、町中が笛や太鼓の祭りばやしに包まれました。14日は、山田八幡宮のみこしが金色の光を放ちながら町を練り歩き、沿道に詰め掛けた観衆を魅了。15日の大杉神社例大祭では、名物の海上渡御が行われ、勢いよくみこしが一気に海になだれ込むと大きな歓声が沸き上がりました。3年目となる今年も山田町商工会青年部(梶山正敏部長・部員23人)らが中心となり、「山田の魅力発信事業」を展開。JR陸中山田駅前(北側)広場に設けられた特設会場「お祭り広場」では、みこしの渡御や町内外の郷土芸能が披露されるなど、終日大勢の家族連れでにぎわいを見せていました。

